

雲仙市国見エリアを もっと好きになるSTORY

国見らしさ-国見ならではの価値-をお客様と共有するために
Unzen city “Kunimi area” Interpretation Plan

国見エリアインタープリテーション全体計画



目次

前書き	1
インタープリテーションとは	2
国見におけるインタープリテーションの目的	3
インタープリテーション全体計画活用方法	4
インタープリテーション上、重要な資源	7
来訪者に望まれる体験	9
お客様と共有したい国見ならではの価値	11
国見ならではの価値1：山と海と暮らし	12
■日本一の干満差がある有明海に面している	13
■緩やかな傾斜の栄養豊かな土地がある	15
■島原半島で初めて人類が足を踏み入れた場所	17
■自然を活かした人々の暮らしがある	19
国見ならではの価値2：日常に溶け込む先人からの学び	22
■武家屋敷の保存がされている	23
■神代小路の歴史が地元の人の手で残されている	25
■教育・芸術・武術などに優れた人を輩出している	27
国見ならではの価値3：豊かすぎる素材と活かす人々	30
■イチゴ・ネギを代表とする一次産業が盛んである	31
■有明海から獲れる魚介類・海藻が豊富にある	33
■一次産業の素材を活かした蒲鉾・ハムなどの加工品がある	35
■当たり前で地産地消な飲食店がたくさんある	37
国見ならではの価値4：サッカーが繋いできたまちの絆	40
■国見高校サッカー部は全国屈指の強豪である	41
■スポーツをする環境が整っている	43
■国見エリアを巡るサイクリングが地域を盛り上げている	45
■子どもから大人までみんなが集える百花台公園	47
国見エリアにおける既存の代用的なインタープリテーション・メディア・プログラム	49

前書き

国見は雲仙市の有明海に面する農業漁業共に豊かなエリアです。県内1位の生産量を誇るイチゴや、ブランド化された八斗木白葱などが有名で、市内唯一の海の玄関口ともいえる多比良港や島原鉄道が通っている交通の便が良いエリアでもあります。重要伝統的建造物群保存地区である神代小路(こうじろくうじ)など、歴史的に特徴的なスポットもあります。

このように様々な資源がある反面、一次産業など観光業以外の他産業従事者が多いエリアのため、観光地としてはこれまであまり注目されてきませんでした。そんな国見の資源とその魅力を改めて見直し、今後も進化し続けながら守り、さらにその価値をお客様に伝えていくために作成したものが国見エリアインタープリテーション全体計画です。

本書では、国見でお客様をお迎えする“すべての関係者の皆様”に向けて、お客様にお伝えしたい・感じていただきたいと願っている国見らしさ(国見ならではの魅力・価値)を整理しています。“すべての関係者の皆様”とは、宿泊施設や飲食店やお土産物店など、観光に関係する施設で働くすべてのスタッフの皆様はもちろん、住民の皆様、地域の皆様にバックアップし、地域全体の観光マネジメントやプロデュース、情報発信などを行う行政や観光局のスタッフなど、あらゆる場面で直接的や間接的にお客様と関わるすべての方々です。

本計画は、雲仙観光局主催「国見の良さを伝えるワーキング」の参加者によって制作が進められました。この計画によって、他の地域には無い「国見ならではの魅力的なストーリー」を明確化し、地域のブランディングやコンテンツを強化し、国見の観光的な価値を高めサービス向上に資するとともに、自然環境と歴史文化の保全や継承をより効果的・効率的に行うことをねらいとしています。

また本計画は、整理の仕方をはじめ、まだまだ情報に過不足があるところや認識の違いがあるところもあるかもしれません。本計画自体もレベルアップさせていきたいと考えておりますので、お気づきの点などがある場合は、雲仙観光局(0957-73-3639)までご一報いただければ、次回の改定の際に修正させていただきます。

インタープリテーションとは

「インタープリテーション」は、国立公園や世界遺産、観光地などにおいて、地域の魅力や価値を来訪者と共有するためのコミュニケーションです。自然環境や風景、文化財などが持つ固有の価値やストーリーを来訪者と共有し、来訪者と地域資源との間に特別な繋がりをつくります。

楽しい体験への誘導や、魅力的なストーリーを通じて「その場所らしさ(Sense of Place)」を伝えるのが基本的なアプローチです。ガイドや体験プログラムにはじまり、お客様との何気ない会話やちょっとしたご案内の中、またWeb サイトや展示、印刷物、時には料理やお土産、場のしつらえなど、様々な場面や方法で一貫したストーリーを伝えることが大切です。

そのために作られるのがインタープリテーション全体計画です。国立公園や世界遺産はもちろん、ミュージアムや観光地、観光施設などにおいてもインタープリテーション全体計画が作られるようになってきています。



国見における インタープリテーションの目的

美しい自然景観やおもてなし、美味しい食事は誰もが楽しめるものですが、それらの背後にあるストーリーはただで知ることはできません。

雲仙岳と有明海に挟まれた自然豊かな土地で見られる風光明媚な田畑の風景や、鍋島邸に代表される神代地区の武家屋敷群とそのまちなみ、そして山麓や周辺の海からもたらされる豊かで多様な食。またそれらを育む人々の暮らしは、過去から現在まで続く歴史的な意味や価値を持っています。それらを来訪者と共有することで、より楽しんでもらい、国見との結びつきを深めてもらうことが、インタープリテーションの第一義的な目的です。さらには、来訪を通じて自然の大切さや、社会の持続可能性を考える機会を提供していきます。

そのため、国見の強みである①自然 ②歴史 ③食 ④スポーツの要素を加味したインタープリテーションを実施し、資源と来訪者を結びつけることで観光の活性化を図ります。



インタープリテーション全体計画の活用方法

インタープリテーション全体計画は、国見に関わるどの職種の人でも活用していただくことができます。事例を下記の通りまとめました。ぜひ参考にして、お客様に接していただきたいと考えています。

直接お客様と接する方

お客様からのご質問への回答や何気ない会話の中で、お客様に国見らしさ(国見ならではの価値)やその体験の仕方をお伝えし、国見に来なければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動を持ち帰っていただくお手伝いをいただけるようになってほしいと考えています。

飲食店や料理人の方

料理やしつらえを通じて、お客様に国見らしさ(国見ならではの価値)をお伝えし、国見に来なければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動を持ち帰っていただくお手伝いをいただけるようになってほしいと考えています。

お土産物店の方

お土産やそのパッケージなどを通じて、お客様に国見らしさ(国見ならではの価値)を持ち帰っていただき、家族や友人などにも、国見に来なければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動のお裾分けができるようになってほしいと考えています。

ガイド・インタープリターの方

ガイドツアーや体験プログラムなどを通じて、お客様に国見らしさ(国見ならではの価値)をお伝えし、国見に来なければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動を持ち帰っていただく、一番の担い手になっていただくとともに、そうしたことを伝える資源の大切さもお客様にお伝えすることで、保全や継承の一翼も担ってほしいと考えています。

一次産業従事者の方

農業や漁業などでとれた製品の販売などを通じて、お客様に国見らしさ(国見ならではの価値)や国見でしか味わえないものをお伝えすることで、国見に来なければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動を持ち帰っていただくことの一翼を担っていただくとともに、そうしたことを伝える資源の保全や継承にも責任を持って取り組む地域社会の一員となってほしいと考えています。

教育関係者の方

教育現場での授業を通じて、国見らしさ(国見ならではの価値)やその歴史・文化をお伝えすることで、国見にいなければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動を再認識してもらうための一翼を担っていただくとともに、そうしたことを伝える資源の保全や継承にも責任を持って取り組む地域社会の一員となってほしいと考えています。

各種事業のディレクターや事業者・オーナーの方

各事業を通じて、お客様に国見らしさ(国見ならではの価値)やその体験の仕方をお伝えすることで、国見に来なければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動を持ち帰ってもらうための一翼を担っていただくとともに、そうしたことを伝える資源の保全や継承にも責任を持って取り組む地域社会の一員となってほしいと考えています。

行政・観光局をはじめ、各事業のプロデューサーの方

ハード・ソフトにかかわらず、地域全体の方向性を検討する際に、各事業者やお客様に関わるすべての関係者が、お客様に国見らしさ(国見ならではの価値)やその体験の仕方をお伝えしやすくなるように、また、国見に来なければ味わえなかったモノ・コト・時間・感動を持ち帰っていただくことの一翼を担っていただきやすくなるように、地域社会全体の持続可能性を踏まえたマネジメントや関係性構築の役割を担ってほしいと考えています。また、そうしたことを伝えられる資源の保全や継承にも責任を持って取り組む地域社会を率先して創っていく役割を担ってほしいと考えています。

自分らしさ、自分の事業らしさ(売り・得意なこと)を生かして...

地域の魅力・価値を整理した「インタープリテーション全体計画」は、もちろん大切ですが、そこに地域関係者それぞれの「自分らしさ」や、「事業者らしさ(売り・得意なこと)」を、かけ算して表現いただくことで、あたかもひとつの楽譜(=インタープリテーション全体計画)を、様々な楽器(=個々人、個々の事業者)で奏でるオーケストラのように、地域の魅力・価値を、地域関係者で、立体的に奏でられる地域になれる可能性があります。ゆえに、個々の魅力も同時に磨いていくことも大切だと考えています。

【インタープリテーションの波及イメージ】

直接お客様と接する方



質問への回答
何気ない会話

国見の価値や
体験の仕方

飲食店や料理人の方



料理やしつらえ

国見の価値や
体験の仕方

お土産物店の方



お土産やその
パッケージ

国見の価値

ガイド・インター
プリターの方



各事業の提供

国見の価値や
体験の仕方

各種事業の
ディレクターや
事業者・オーナーの方



ガイドツアーや体験
プログラムの提供

国見の価値や
体験の仕方

教育関係



国見の価値や
歴史・文化

授業やセミナーなど

SNSでの発信

リアクション

フォロワー



一次産業従事者



国見の
価値や味

野菜や魚介類の
直販

お土産など
お裾分け

友達や家族



お客様



国見への来訪や再訪

国見に来なければ
味わえなかった
モノ・コト・時間・感動

インタープリテーション上 重要な資源

生き物

小川のメダカ
緋寒桜や梅に集まるメジロ達
有明フェリーから見られるかもめ

植物

桜
ミヤマキリシマ
ヒイラギ
緋寒桜
ヤマボウシ
オキチモズク

自然

風景

田園風景
普賢岳一望
田代原高原
有明海の夕日
イチゴハウス群

海

有明海
長浜海水浴場

人物

鍋島嵩就
鍋島桂次郎
植木元太郎
小嶺忠敏

遺跡・城跡

佐賀藩時代の名残

神代小路
鍋島邸
武家屋敷

歴史

伝統文化

荒踊り
ヒャーライコ踊り
くわ踊り
義士踊り
鳥刺し踊り
神代弁

祭り

土黒の風際祭
多比良商店街の夜市
くにみの日
緋寒桜の郷まつり

9/23

豊後市 くにみの日

伝統料理

つぼ料理
およごし
ガネ汁

国見名物

狸山まんじゅう
たいらげパイ
サッカーもなか
みそタレ
ナチュラルドレッシング
雲仙百花大福
神代バターカステラ
多比良とろとろプリン
雲仙ジオバーガー
観月いなり
雲仙野菜プリン

食

無人販売所

加工食品

雲仙ハム
とうふ蒲鉾
ちくわ
ゴドウフ
ゴマソーメン

烏兎神社の湧き水

特産品

多比良ガネ
貝
八斗木白葱
イチゴ
海苔
伝統野菜

スポーツ

国見高校サッカー部

遊学の館

サイクリング

百花台公園

ペガサスライディングパーク

来訪者に望まれる体験

(来訪者にこのような利用をしてほしい)

自然

有明海を航行する船に乗って季節の潮風を感じてほしい

地元農家が作った野菜が並び各地に点在する無人販売所での買い物を楽しんでほしい



自然が織りなす雄大な景色を巡り写真におさめてほしい



各地に咲き乱れる季節の花々を楽しんでほしい

人工的な光に邪魔されない環境で空に広がる満点の星空を見て過ごしてほしい

歴史

様々な歴史が折り重なる国見をガイドと一緒にまわり、その価値をわかりやすく理解し、知的欲求を満たしてほしい

国見の歴史や文化を守り伝えてきた人たちから直接話を聞いて当時の国見に思いを馳せてほしい



佐賀藩の歴史が色濃く残る神代の武家屋敷のまちなみを散策してほしい



神代の静かなまちなみの中で写経や絵付体験など自分と向き合い楽しむ時間を過ごしてほしい

旧石器時代からの遺跡が残る国見で人類が一番最初に島原半島で足を踏み入れたであろう形跡を探してほしい

食

国見ならではの料理を四季の風景と一緒に食べて地産地消を体感してほしい

国見でとれた野菜や魚を使った加工食品を食べて地域産業のつながりを体感してほしい



生産者のこだわりや思いが詰まった食材を楽しみ、そして日常生活でも味わってほしい



雲仙といえば印象が強い“雲仙ハム”をお土産で買って帰り住んでいるまちでも国見を感じてほしい

多種多様な野菜が育つ国見で自ら土に触れる収穫体験をしてほしい

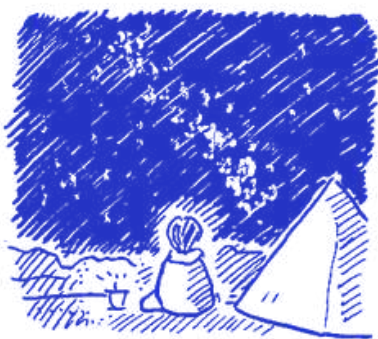
スポーツ

各地に設置されたモニュメントや販売されるお土産物で「サッカーのまち国見」を体感してほしい



休日に家族みんなで百花台公園で過ごしてほしい

自然に囲まれた田代原でキャンプを体験してほしい



これぞ島原半島というダイナミックな景色の中を自転車で周遊してほしい



その他

時間を忘れ、何もしないという豊かな時間を過ごしてほしい



住民の思いや地域の課題に触れ、観光客から一步踏み込み、このまちに関わりまた来たいと思ってほしい

お客様と共有したい 国見ならではの価値

インタープリテーション全体計画では、国見を訪れた方と共有したい地域の魅力、お客様に伝えたい地域の大切な価値を文章化して整理しています。たくさんの価値がありますが、そのなかでも特に他地域には無く、国見を特徴づけている、国見ならではの価値に絞っています。

それぞれの価値には、地域の景観や文化的資源に通底する(共通している)考えや見方を、端的な文章として記述しています。インタープリテーション全体計画でまとめた、お客様と共有したい国見ならではの価値は次のとおりです。

国見ならではの価値1：山と海と暮らし

国見ならではの価値2：日常に溶け込む先人からの学び

国見ならではの価値3：豊かすぎる素材と活かす人々

国見ならではの価値4：サッカーが繋いできたまちの絆

国見ならではの価値1

山と海と暮らし

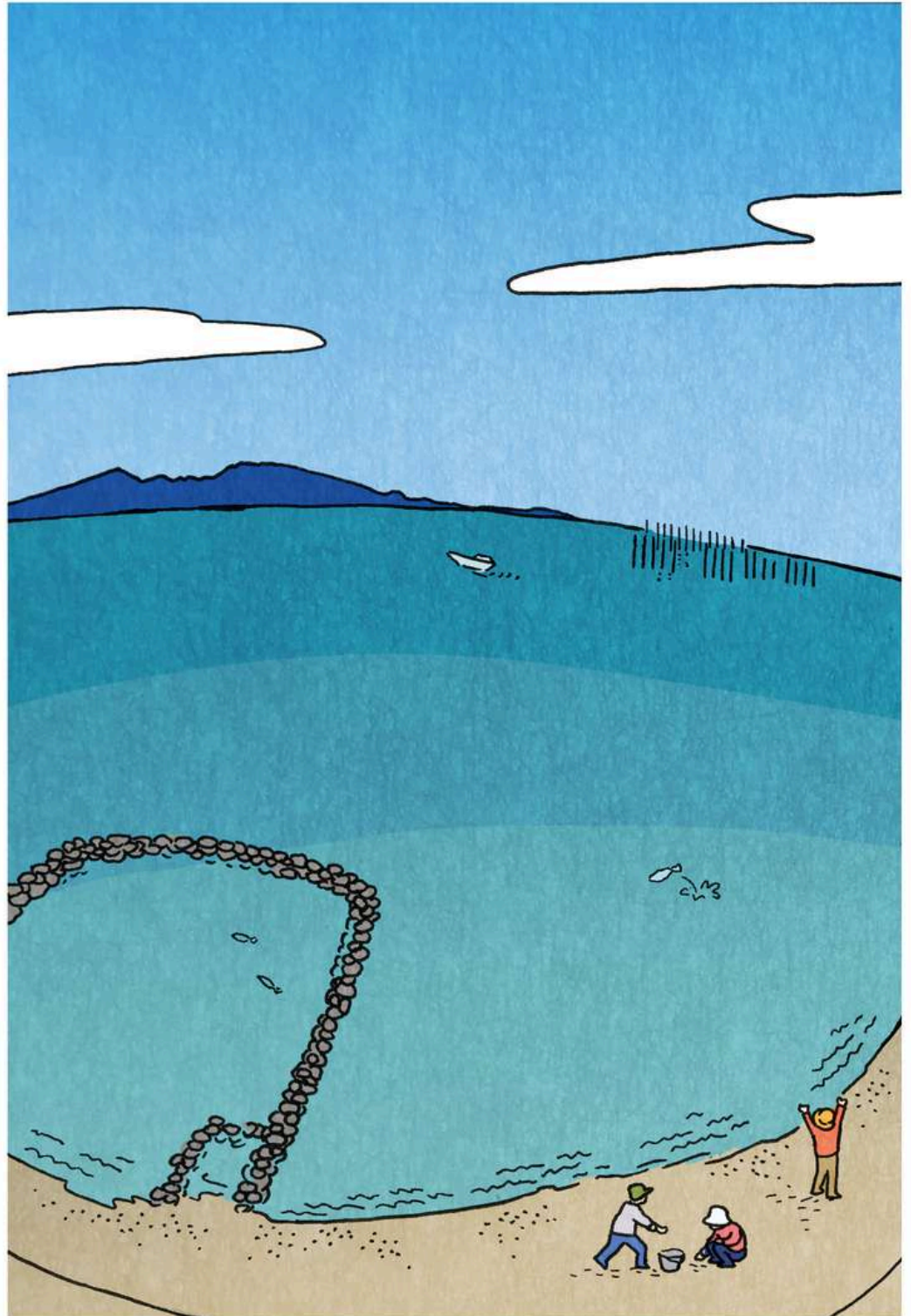
雲仙岳と有明海に囲まれた国見エリア。ゆるやかな傾斜によって栄養豊富な土壌と、潮の満ち引きが激しい海には国見ならではの多くの野菜や魚介類が育つ。食べ物が豊富で水があれば、そこには人が集まる。国見は島原半島で一番最初に人類が足を踏み入れた場所といわれており、それを裏付ける遺跡群の数々や埋蔵品が出土している。古来から現代まで人間は自然と共に暮らしてきた。

国見ならではの価値

山と海と暮らし

日本一の干満差がある有明海に面している

島原半島の東に広がり九州地方最大の湾である有明海は、その細長い形が起因し特徴的な環境を生み出している。海水が行き来するタイミングと外海の東シナ海から海水が入り出すタイミングとが非常に近く、ちょうどブランコを漕ぐ人と背中を押す人のように力が重なり、潮の満ち引きが最大6mと日本で最も干満差がある。加えて雲仙岳や阿蘇山系の恵みを受けた広大な干潟には、豊かな魚介類が数多く生息し、雲仙の食の魅力を構成する一要素となっている。有明海は子どもたちの遊び場から普段の食事まで、私たちの生活を豊かにしてくれている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■アサリの潮干狩りができる



例年、国見町神代海岸で、有明海の風物詩となっている「潮干狩り」。有明海の潮干狩りは春の訪れと共に始まる。

昔から、この海で獲れるアサリはとても美味しいことが知られており、毎年県内外から訪れた多くの人で賑わう。

■豊富な魚介類



今では獲れなくなってしまったが、昔はタイラギ、クルマエビ、アゲマキ、ハマグリ、トラフグなども漁獲されていた。

■様々な漁法がある



●カゴ網漁法

エサで対象生物をカゴの中に集めて漁獲する漁で、代表的なものに「カニかご」「バイかご」「えびかご」などがある。

●スクイ・スイ(石千見)漁法

縄文・弥生時代の大昔から行われていた漁法。海岸線に半円形を描くように丸石を並べて1~2mほど積み上げ、そこへ満潮に乗って集まった魚群は、干潮になると海水が丸石の間から流れ出てしまい取り残されるという仕掛け。こうして春夏秋冬いろいろな魚が獲れ、一年を通して有明海の豊かな恵みを得ていた。(写真は島原市の様子)

国見ならではの価値

山と海と暮らし

緩やかな傾斜の栄養豊かな土地がある

島原半島の中でも傾斜が緩やかで日当たりがよく、温暖多雨で植物が生育するのにとても適した環境。国見エリアには、火山灰と安山岩、植物の腐植で長い年月をかけてできた粘り気のある栄養たっぷりの黄色土の土壌と、通気性と物理性に優れた黒ボク土の土壌があり、「育たない野菜はない」というくらい多種多様な野菜をつくることができる。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■多様な土壌でどんな野菜でも育つ



●黄色土

安山岩からでき土。約150万年かけてできた粘り気があり細やかな土壌。

●黒ボク土

火山灰と腐植でできた土。数千～万年かけてできた団粒構造で物理性が良い。耕作しやすい。にんじんや大根など根を深くはる野菜に適している。

■山と海を背景に広がる景観



●国見は島原半島の中でも傾斜が緩やかである。傾斜のきついところではお米が栽培されている。条件の良い土地では野菜を栽培するが、痩せて日当たりのよくない土地でも育つのはお米である。

●日当たりが良くて農業に適しており、さらに温暖多雨にも恵まれている。

●水はけが良いため、土が流出しにくい。

■水が豊富できれい



オキチモズク

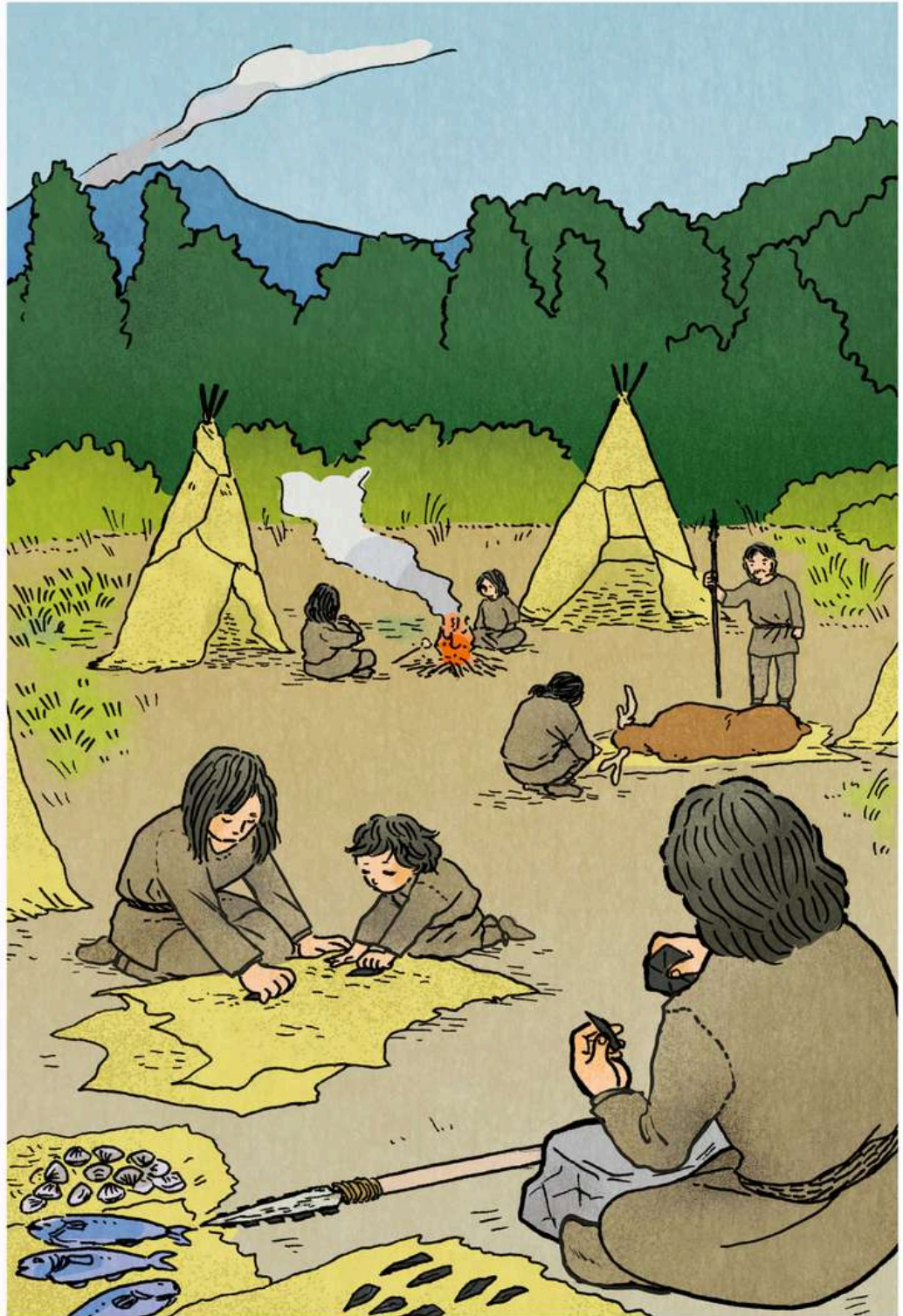
国見には、国の絶滅危惧種に選定されているオキチモズクが生息している。オキチモズクは、日本特産の淡水産の紅藻類で、形態は糸状でひどく分枝し、よく生長すると長さ40cm位になる。赤みがかった色で、川底の小石や岩に付着している。全国的に見ても生息地は極めて限られており、長崎県で確認されているのは国見エリアのみである。

国見ならではの価値

山と海と暮らし

島原半島で初めて人類が足を踏み入れた場所

その環境から農業や漁に適していた国見エリア。古来より人が住む条件が整っており、島原半島で人類が初めて営みを築いた場所なのではないかと考えられている。その証拠に遺跡や古墳、石器や土器など旧石器時代〜奈良時代の遺物が多く出土している。人が集まる場所には心の拠り所となる信仰が生まれ国見には数多くの神社や寺が残り、今でも人々の生活と共にある。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■百花台遺跡群 旧石器時代～奈良・平安時代(約3万年前～約1200年前)



- 県立百花台公園建設に伴って発掘調査が行われ、旧石器時代～縄文時代の遺物が大量に発見されている。その出土量は全国でもトップクラス。
- 旧石器時代の「ナイフ形石器」や「台形石器」と呼ばれる黒曜石製の石器は、旧石器時代の研究や当時の人々の生活を知るために欠かせない出土品。

■鬼の岩屋 古墳時代後半・高下古墳(約1500年前)



- 昭和33年に九州大学を中心として調査が行われ、古墳時代後期の有力な豪族のお墓であることが判明した。横穴式石室と呼ばれる構造で、内部の床面には3体分の遺体と副葬品が残されていた。
- 金銅製の馬具や勾玉・管玉・銅心の耳飾(金環・銀環)などの装身具類、太刀や鉄鏃などの武器類が遺体とともに埋葬されていた。現在は石室を覆う盛土はほとんど流失してしまい、石室の正面が大きく口を開けている。

■五万長者遺跡 奈良・平安時代(約1200年前)



- 奈良時代の「肥前国高来郡」の代表的な寺院跡と考えられ、これまでの調査で建物の基礎部分の一部と考えられる版築遺構や多くの古瓦・土器が発見されている。
- 軒瓦表面に施されている唐草文様や蓮華文様は、大宰府に築造された観世音寺跡から出土する古瓦と類似しており、当時多比良地区に住んでいた豪族と大宰府との強い絆を物語っている。県内で奈良時代の瓦が発見されているのは「壱岐嶋分寺」と「五万長者遺跡」のみ。

■点在する神社の数々

『その昔、雲仙から”加無之呂”におりた神は肥後の国に渡ろうとしたが海が荒れ渡れずにいた。8回目でやっと渡れ、行き着いた先は後の”八代”となった。』…雲仙満明寺の縁起にそう記されている神代の伝説。国見にはその他にも霊験あらたかな神社が多く点在する。

●烏兎神社(土黒地区)

武甕槌命、経津主命、大山祇命を祀る神社。武芸や勝負事の祈願に訪れる人が多い。桜、紅葉の名所。

●多比良温泉神社(多比良地区)

8月に豊漁豊作を願う風除祭が行われ、馬練りがある。

●淡島神社(神代地区)

少彦名命を祀る。縁結び・安産・子育ての祈願にご利益があるとされる。ミニ鳥居3つを全部くぐると安産のご利益がある。

●神代神社(神代地区)

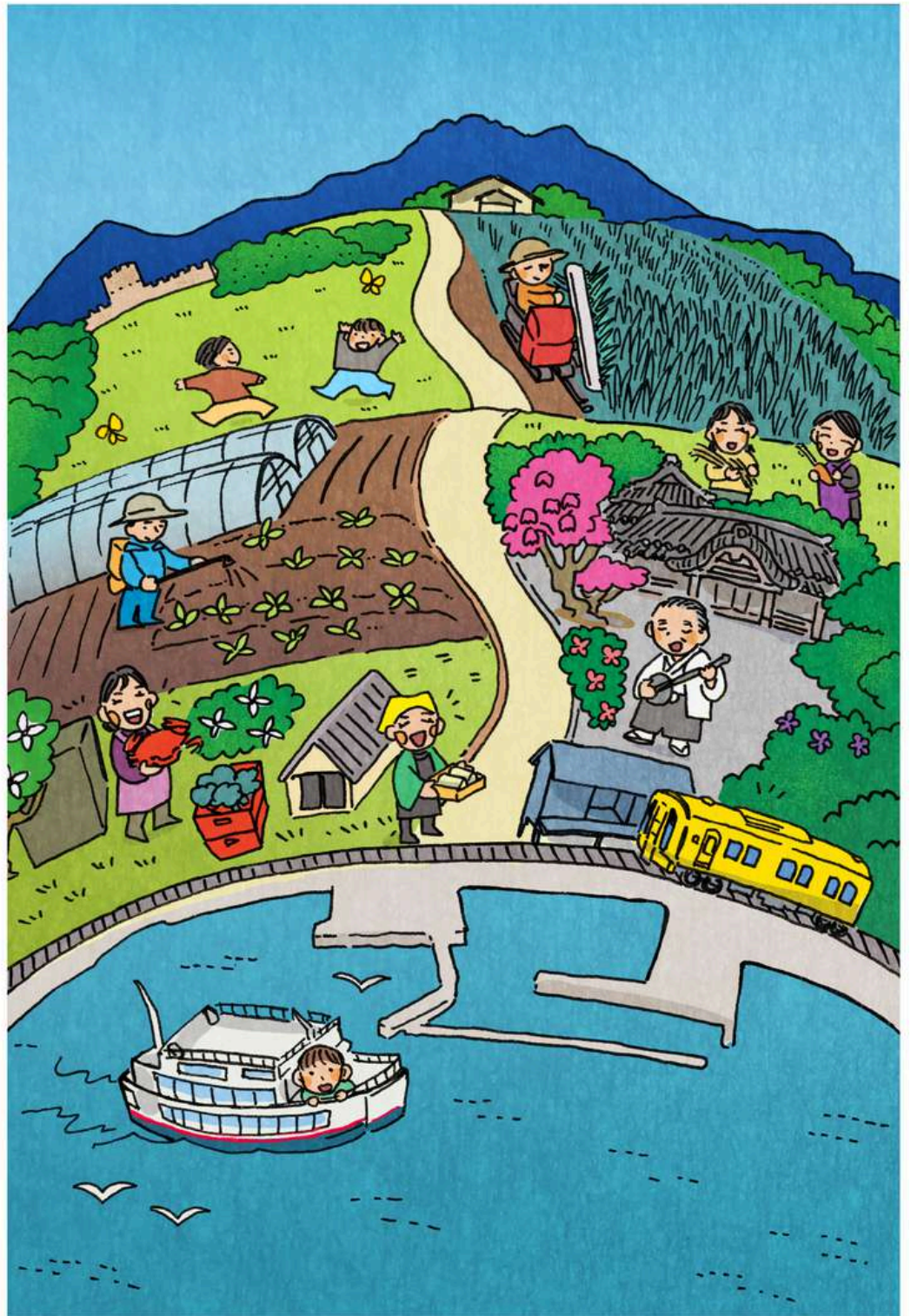
元は天神側の川沿いにあったが、みのつる川の拡幅工事に伴い、鶴亀城の本丸跡に移転。

国見ならではの価値

山と海と暮らし

自然を活かした人々の暮らしがある

海と山に囲まれ、自然を活かした暮らしを営み続ける国見町。その肥沃な大地で作物や動物を育てる人、海からの恵みを素材としてだけでなく加工する人、船を使って商売を行う人など自然を活かした暮らしがここにはある。自然の恵みを存分に使い、農業・工業が盛んな土黒地区。海の玄関口があり船での交流が盛んで商業が発展した多比良地区。佐賀藩の唯一無二な歴史の中で育まれた文化と教育者を多く輩出した神代地区。それぞれに特色がある3つのまちで形成されている国見町。また春夏秋冬にあわせ植物が各地で咲き乱れ、子どもたちが自然の中で遊ぶ環境も整っている。いつも生活のそばには自然がある。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■四季の花に集う人々



- 国見は自然豊かな場所であるため四季折々の景色や花を見ることができる。
- 神代小路内では、梅・桜・藤・さつきなどが見られる。最も有名なのは、鍋島邸の庭園内や、みのつる川沿いに咲く緋寒桜である。毎年2～3月に開花し、可憐な紅色の花々で彩られる。
- 多比良地区では、梅雨時期に見られるヤマボウシがまちを彩る。4つに分かれた白い部分(葉が変形したもの)が特徴。

■各所から見える美しい景観



- 一次産業と密着した生活がある国見町。近しい人の誰かが一次産業を営んでおり、通勤通学や生活のすぐ隣に「畑」がある風景、日常がある。なだらかな丘陵地帯を埋め尽くすような海まで続く段々畑、それが国見の原風景。
- 県道58号線沿いに広がるねぎ畑と有明海を望む。
- 神代線からみる雲仙岳が美しい。多良岳も見えて景色がいい。
- 鍋島邸の高台から見る景色。

■フェリーとかもめ



- 多比良港から熊本県長洲港を結ぶフェリーには時期によってかもめが並走する。船内では、かもめにあげるための「かもめパン」も販売しており、乗客はエサやりを楽しんでいる。
- 乗船中、可愛いかもめ達の背景に見える雲仙岳は絶景である。どっしりと構えたシルエットからは、長い年月をかけて人々の暮らしを見守ってきた温かみも感じられる。



1、神代小路に2月中旬ごろから咲き乱れる緋寒桜
2、鍋島邸敷地内にある藤の花

3、土黒温泉神社
4、多比良港から出港するフェリー

国見ならではの価値2

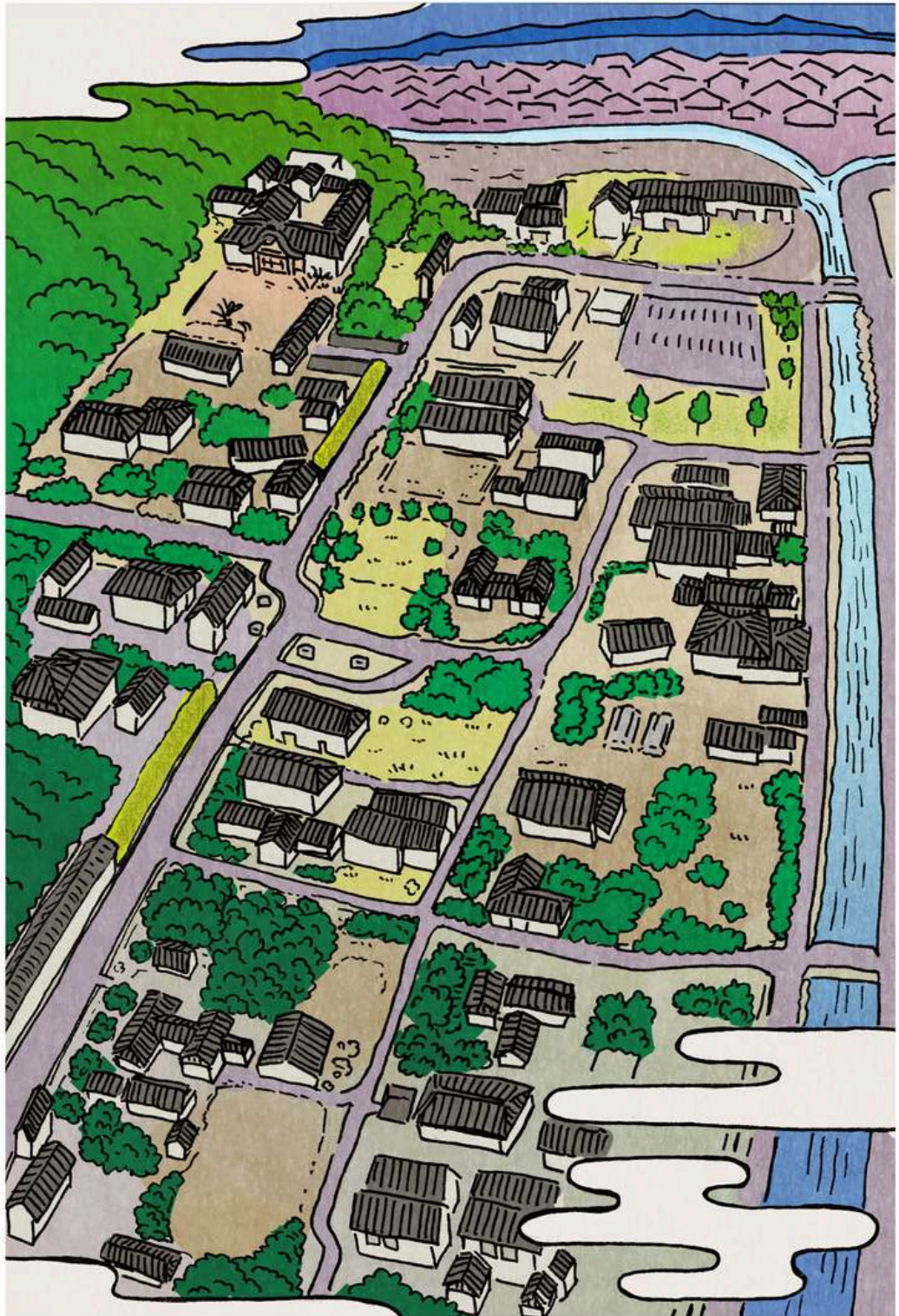
日常に溶け込む先人からの学び

慶応元年に建築された長屋門、長さ30mの石堀、清らかな水が流れる水路、手入れされた生垣、趣のある家々などが散在し、武家のまちなみが残る神代小路。教育に注力し、数多くの優れた人材を輩出してきた。これまで語り継がれてきた歴史、文化、想い。そしてそれを今に伝え、護る人々がいる。

日常に溶け込む先人からの学び

武家屋敷の保存がされている

神代の名が歴史上に現れたのは700年代に書かれた「肥前風土記」までさかのぼる。書物に記された、加無乃呂(かむしろ)郷が現在の神代のことである。2005年(平成17年)、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された神代小路。佐賀藩の飛び地だった神代には今でも残る武家屋敷群、昔ながらの石垣や樹木が点在している。江戸時代から約300年も変わらず残る美しいまちなみや文化をこれからもついでいくため、今でも住民の手で大切に護られている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■旧鍋島家住宅



鍋島邸は、神代鍋島領・領主の屋敷としてこの地区の中核的建造物である。明治期から昭和初期にかけて建設された主屋や御座敷などの近代和風建築は、旧領主の邸宅に相応しい秀麗な景観を形成している。鍋島邸の正面には慶応元年に建築された長屋門と30mの石垣が堂々と建ち、雲仙普賢岳の眺めも素晴らしい書院の前には庭園が広がる。

毎年2月頃には主屋の玄関脇の奥に咲く樹齢90余年の緋寒桜、春はツツジと季節の花々が庭を華やかに彩る。

■旧永松家住宅



永松家は、神代鍋島領を治めた鍋島家の教育係を務めていたとされている。主屋は寄棟造の茅葺き、一部2階建ての武家屋敷で、建築年代は江戸時代後期頃まで遡るとされている。

明治期以降、数度の改修が行われているが、大型武家住宅の初期の形態を色濃く残した建物として、当時の威厳を今に伝えている。

■神代小路の歴史的背景が色濃く残るスポット

●神代城跡地(鶴亀城)

南北朝時代に築城され、戦国時代末期まで神代氏の居城だった。江戸時代初期に鶴亀城が整備されたが、一国一城令により廃城となった。本丸跡は神代神社・道政院稲荷神社となっている。

●帆足家長屋門

帆足家の長屋門は、侵入した敵の目を欺き鍋島家の門と思わせるための疑似門といわれており、武家町としての機能がうかがわれる興味深い配置となっている。

●雲仙市歴史資料館国見展示室(旧神代村立神代中学校)

旧神代村立神代中学校の木造瓦葺の校舎を利用した建物。北側は旧中学校時代の校舎を復元し民俗資料を展示、南側は考古資料の展示室で、雲仙市内の遺跡で発見された貴重な出土品が見学できる。

●天神橋

みのつる川に架けられていた旧天神橋は、高欄石造桁橋。この橋は神代小路の大手口にあたり、鍋島陣屋に向かう道が伸びていた。

●下坊(しもぼう)

下坊には神代鍋島家の供養塔が建つ。下坊とは、上坊(祈祷寺である長栄寺)の下にある僧坊という意味。

●中央枡形

軍事施設としての枡形。

●300年余り流れ続ける道脇の水路。昔は生活用水として大切に使われていた。

●生垣・石垣など、特有の垣根。(矢竹やつぶて石もある)

日常に溶け込む先人からの学び

神代小路の歴史が地元の人々の手で残されている

神代小路の人々が護ってきたのは武家町の特徴が残る美しいまちなみだけではない。後世に語り継がれてきた文化、そして想いも。これまで紡いできた神代小路をどのように残し、どう伝えていくべきかと尽力する人々がいる。佐賀鍋島藩の時代から脈々と受け継がれてきた歴史や精神を途絶えさせることなく、未来に語り継ぎ



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

地元の人による様々な活動の紹介

■神代小路まちなみ保存会



神代のまちなみを保存しようと活動している。2月の緋寒桜、夏のサルスベリを盛り上げる企画にも取り組んでいる。

■神代史ろう会



まちなみ保存会と同じ活動しており、一般向けにイベント(公民館講座)を開催している。

■コウジロコネクト



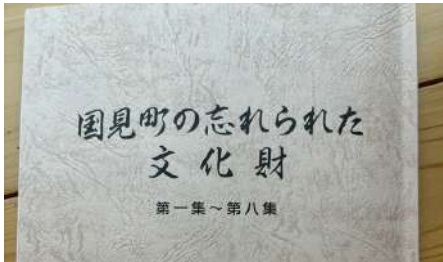
神代小路地区の古民家を拠点に、オカリナの演奏会や企画展を実施し、音楽による絆づくりとまちづくりに取り組んでいる。

■神代文殊会



川西、川東地域の商工業者有志で結成。空き家活用による地域活性化に取り組んでいる。

■国見町郷土史研究会



昭和54年の設立以来40年以上にわたり、郷土の歴史と文化について調査研究し、その継承発展に貢献している。

■NPO神代小路ネットワーク

令和2年3月に結成された新しい団体で、まちなみの保存・継承を目的に主にまちなみの美化に尽力している。

■神代鍋島塾

小路地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことをきっかけに結成され、国見エリアの商工業者、農業、林業、公務員など多彩なメンバーで構成されている。

■鍋島三線弾兵衛正雲がご案内 鍋島邸と神代小路のまちなみ



正雲さんは、まさに「唯一無二の三線ガイド」。武家のまちとして、古くから引き継がれてきた神代小路や鍋島邸の歴史について、軽やかな三線と共に、楽しく、詳しく、面白くご案内。

(お問い合わせは雲仙観光局 0957-73-3434 まで)

■神代の伝統的な武家屋敷からインスパイア 感じたままに創作体験



手びねりでのお地蔵様づくりや絵付け体験、表札づくり、写経体験、神代の歴史を語る「神代史Q&A」を行っている。大人から子どもまで楽しむ、神代の歴史ある武家屋敷内で創作できる。

(お問い合わせは雲仙観光局 0957-73-3434 まで)

国見ならではの価値

日常に溶け込む先人からの学び

教育・芸術・武術などに優れた人を輩出している

江戸時代から歴代当主が大切にしてきた「教育による人材育成」。積極的に武士が勉学に励むよう施設の整備や援助を推進した。そして、神代の武士は佐賀の石橋屋敷や弘道館に通い、教えを受けて帰郷、神代鍋島領内に教えを伝えた。1832年、領内の学問所として鳴鶴舎を創設。神代における学校教育の基礎を作った。庶民にも広く文字などを教え、教育熱が高かったといわれている。学ぶことの大切さを知っている国見からは教育や芸術、武術などに長けた、多くのすぐれた人物が輩出されている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■鍋島桂次郎



神代鍋島家第16代当主
1886年、外務省に入る
1887年、ロンドン公使館に勤務
累進して伊藤博文ら要人の欧州派遣などに随行
その後、一等書記官となり、アメリカ、ドイツ、イギリスなど在外公使館での勤務を歴任
1903年、大臣官房となる
1906年、韓国統監付秘書官兼外務省参事官
1907年、統監府外務総長に就任兼統監府参与官
1909年、駐ベルギー公使を務める
1916年、勅撰の終身貴族院議員となる
その後、神代村有林の確保や晩成社の設立のほか、神代出身学徒のための学寮を長崎・島原に設置するなど、村民の教育振興と学校整備の充実、村の近代化と人材輩出に貢献した

■植木元太郎



1857年、肥前国高来郡多比良村(現在の国見町)で酒造業を営む植木直平の子として生まれる
1888年、多比良村議会議員に当選
翌年から同村収入役(3期)を務める
1982年、長崎県議会議員に当選
1902年、衆議院議員に当選
この間、島原半島への鉄道敷設を企図
1908年、島原鉄道株式会社の創立総会を開き、同社の専務取締役役に就任
島原半島を一周する路線の構想を抱き、後に口之津鉄道、温泉鉄道、小浜鉄道を創立する
1940年、初代島原市長を務める

■鍋島嵩就

神代鍋島家4代領主。号は一雲。14歳で有馬ノ陣(島原・天草一揆)に出陣。城番政治を廃し、神代に陣屋を構えて在住。小路を造成し、村内に散住していた家臣を集住させ、武家屋敷を造った。

■尾形友蔵

神代鍋島の学問所鳴鶴舎の剣術指南役。25歳の時に江戸に上り、江戸四大道場の一つ、心形刀流・伊庭軍兵衛の練武館に入門し内弟子となる。7年後、免許皆伝を得て常の一字をゆるされ常傳子となる。

■伊東玄琢

1845年土黒に生まれる。優れた医術と親切な医療は近隣の村や藩内外からも評判を呼び、熊本辺りからも泊りがけの受診者がいたという。医者傍ら、教育・福祉の向上にも心を配り、土黒の村政にも尽力した。

■中川安五郎

カステラ・和菓子を製造販売する老舗「文明堂」の創業者。「カステラ一番、電話は二番、三時のおやつは文明堂」というキャッチフレーズを生み出すなど、独自の宣伝方法でその名を全国に広めた。

■小嶺忠敏

1984年、長崎県立国見高校の社会科教諭として赴任し、サッカー部を全国高校サッカー選手権で戦後最多タイ6度の優勝に導いた。1996年にはJFA公認Sコーチも取得。



1



2

1、帆足邸長屋門
2、切ったら矢としても活用できる矢竹



3



4

3、敵が攻めにくい構造、樹形
4、旧神代村立神代中学校

国見ならではの価値3

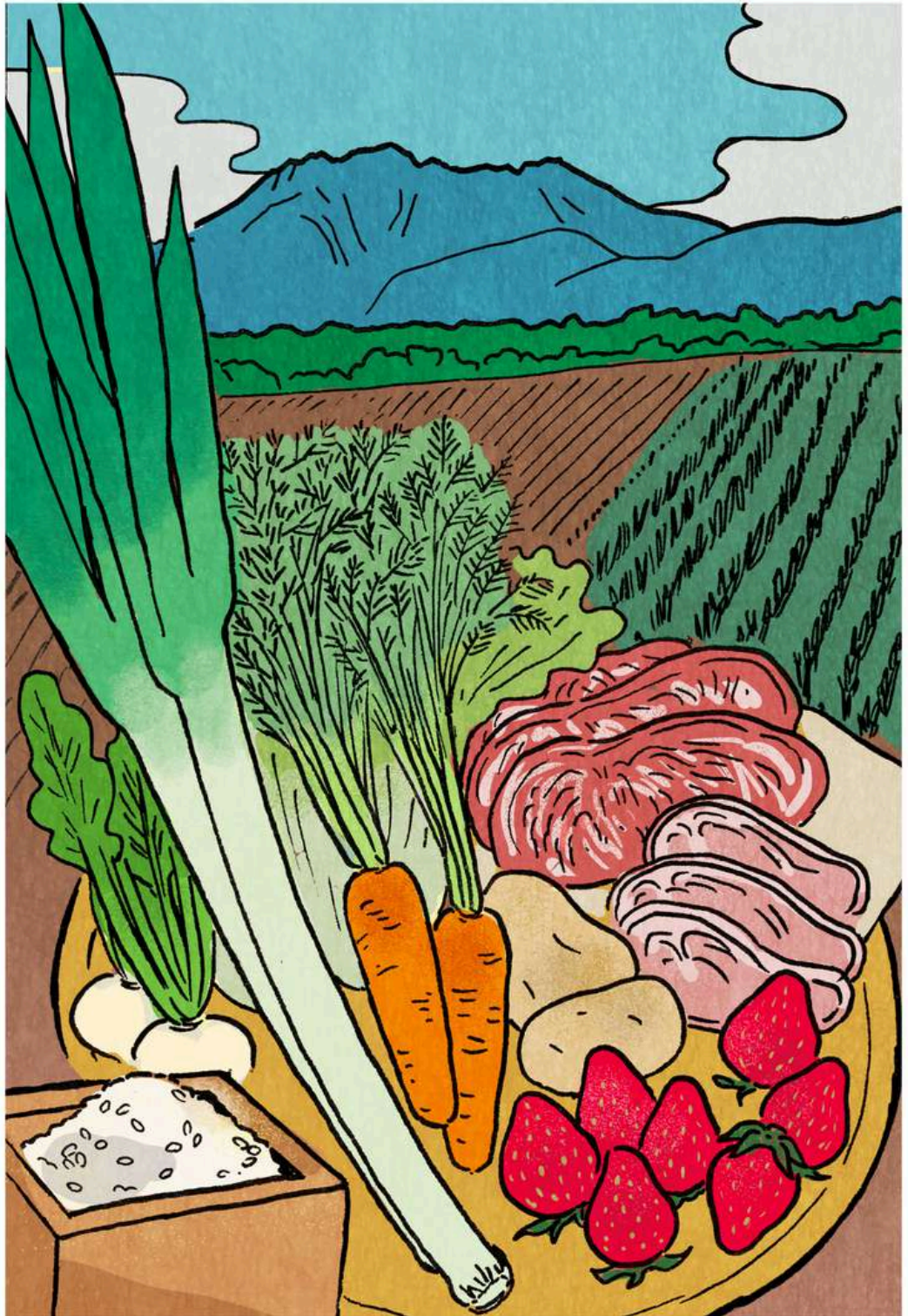
豊かすぎる素材と活かす人々

一次産業がさかんな国見は、火山活動に起因する多様な土壌を活かし続けてきた耕作風景が広がっている。大切に育て、新鮮で美味しい食材を作り続ける人、そして、それらの素材の味を最大限に引き出し、魅せる調理をする人。国見の食材に惹きつけられた人は少なくない。

豊かすぎる素材と活かす人々

イチゴ・ネギを代表とする一次産業が盛んである

肥沃な大地で育てられた作物は、1億人のいぶくろを支える根幹となっている。県内1位の生産量を誇るイチゴや、年間を通して収穫ができる八斗木白葱など特産物も多く、農家の数は市内随一。火山の恵みを受けた豊かな土壌で育った作物には、素材の旨味がたっぷり詰まっております、その食材に魅せられる料理人や新規就農者が県内外から集まっている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

イチゴ



島原半島北部に位置するなだらかな地形の雲仙市国見町。農業が盛んで、その中でもイチゴの生産量は県内1位を誇り、国内でも屈指の生産地として知られている。肥沃な大地と、恵まれた気候のもとで育った良質なイチゴは全国に出荷されている。代表的な品種としては、恋みのり・ゆめのか・さちのかなどがあり、毎年12月から春頃まで収穫されている。

八斗木白葱



雲仙市国見町の中山間部に位置する八斗木地区で、八斗木白葱生産部会が育てているブランド葱。雲仙の恵まれた環境で育ったが故の、シャッキリとした歯切れのよい歯ごたえと爽やかな甘み、輝くような白さが特徴。それに加えて、棚もちも良い。通常の長葱の旬は冬だが、八斗木白葱は生産者の努力と工夫により、通年栽培を実現し、年中美味しい葱が味わえる。

その他の一次産業

●大根

収穫時期は11月下旬～5月下旬頃。国見町を含む島原半島北部は、全国でも有数の産地。土壌分析に基づく生育管理の徹底、収穫作業の共同化、産地面積の拡大にも取り組んでいる。

●メロン

収穫時期は5月上旬～6月下旬頃。主に国見町や瑞穂町を中心に生産されている。

●アスパラガス

収穫時期として春は3月中旬～4月中旬頃、夏は7月上旬～9月上旬頃。雲仙山麓の恵みを受け、ミネラル豊富な地下水でみずみずしく育っている。

●米

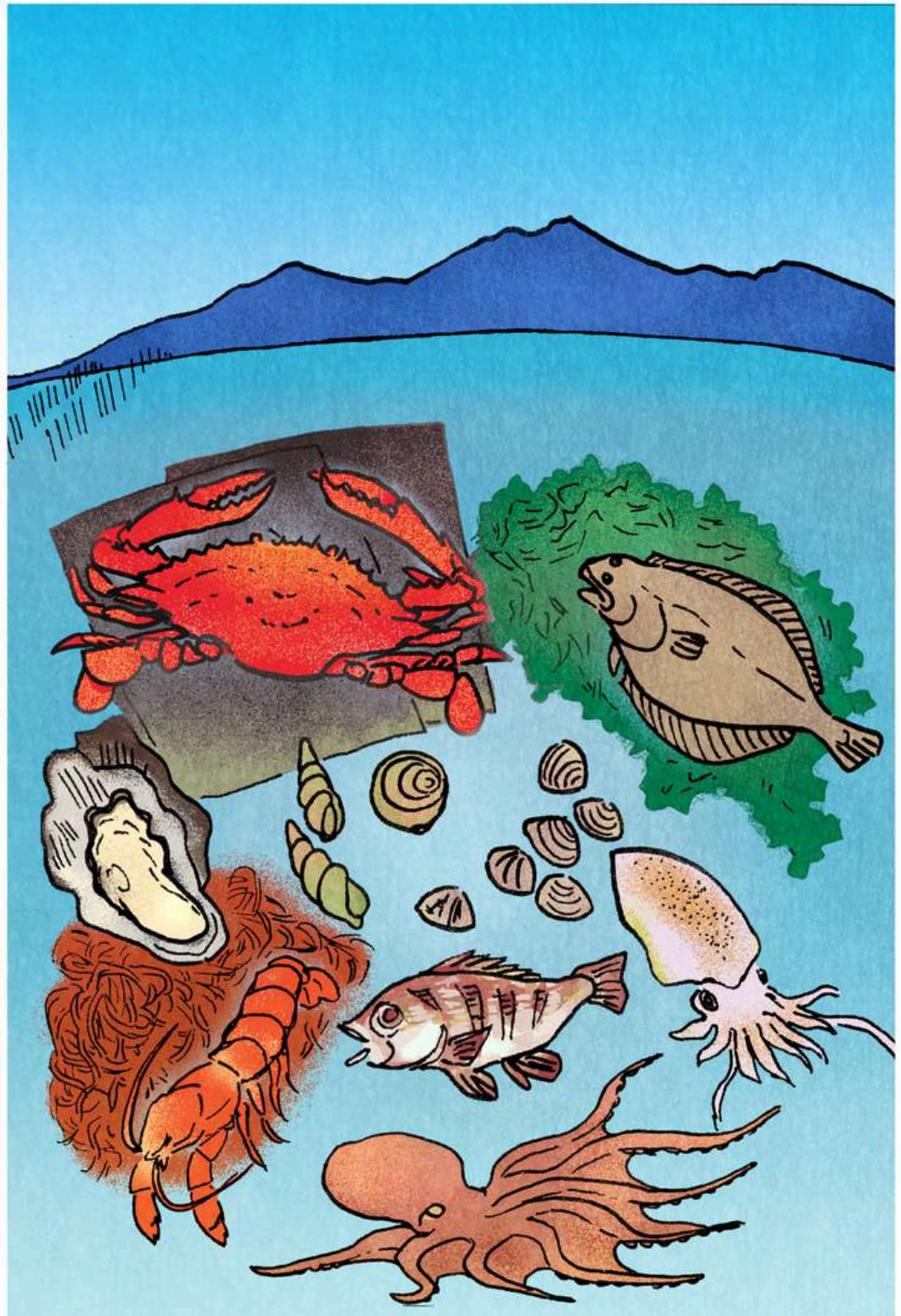
収穫時期は10月中旬～11月下旬頃。主な品種はヒノヒカリ、なつほのか、にこまるなど。

●その他にも、じゃがいも、みかん、ピーズ、ブロッコリー、人参、ベルガモット、トウモロコシ、トマト、茄子、ピーマンなど数多くの野菜や果物が栽培されている。これは、火山がもたらした豊かな恵みのおかげであり、国見エリアは取れない野菜はないと言われるほど、作物に適した土壌となっている。また、雲仙市内で最も農家数が多い土地とも言われている。

豊かすぎる素材と活かす人々

有明海から獲れる魚介類・海藻が豊富にある

大小100を超える河川が流入し、山や森からたくさん栄養分が流れこみ、様々な生き物がよく育つ豊かな漁場の有明海。日本最大の干潟を有し、プランクトンを飼料とする他の海域にはいない珍しい種や干潟にしか住めない生物が数多く生息している。川から流れ込んだ栄養を吸収し、湾内の栄養過多や酸素不足を防ぎ、結果広い範囲で多様な種が生存し続けられる環境にある。



ストーリーを伝える、おすすめの産品



- 多比良ガネとは「ガザミ」と呼ばれるワタリガニのことで、国見町多比良港沖で捕獲されるカニであることから地名にちなんでその名前がつけられた。夏場はぷりっとした身とカニ味噌が豊富なオス、冬場は卵がぎゅっと詰まり濃厚な味わいのメスが旬を迎える。国見町内には国道沿いから中通りまで、自慢のカニ料理を展開する食事処が多くある。よく身の詰まったその濃厚な味は昔から人気で、一年を通して美味しく食べることができる。
- 甲いかは、国見では酢みそで食べるのが一般的。
- 例年3月下旬と4月上旬のそれぞれ3日間ずつ、神代海岸でアサリの潮干狩りが行われている。毎年多くの人が楽しみにしており、マテガイも収穫することができる。
- 地元の飲食店では甘みがある白エビはかきあげなどに使用され、出汁がとれる赤エビはそうめんのつゆなどに使われる。また、季節によってヒラメ、アラカブ、メバルなども楽しむことができる。

国見ならではの価値

豊かすぎる素材と活かす人々

一次産業の素材を活かした蒲鉾・ハムなどの加工品がある

一次産業の盛んな国見だからこそ、それらを活かした加工食品が多数開発されている。そのどれもが大
地や海の恵みを存分に活かした商品で、観光客だけでなく地元の人にも愛されている。



ストーリーを伝える、おすすめの産品

■雲仙ハム



- 健やかに育った良質な国産豚肉を使用して作られたポークソーセージ。そのままでも食べられるが、軽く炒めると香ばしく濃厚な味わいに。
- お土産としても喜ばれること間違いなしの商品で県外の飲食店でも大好評。

■狸山まんじゅう



- 70年以上の歴史がある老舗和菓子屋。店の初代は戦中、軍に下ろすお菓子を作る一流の和菓子職人だった。しかし、戦後すぐの時代は食材もすぐに手に入らない、そして店を開いた「狸山」という地域で売れるお菓子として「まんじゅう」を作り始めたといわれている。
- こしあんの黒糖まんじゅうと芋あんが入り、店のシンボルマークのたぬきの焼き印が押されている。

●雲仙高原ポークソーセージ

地元産の豚肉に玉ねぎや長ネギが入ったソーセージ。素材の甘みを活かされており、やみつきになる味付け。

●オランダ坂ソーセージ

昔ながらの味を追求した商品シリーズ。長崎は、日本でのハム・ソーセージ発祥の地と言われている。

●観月コロッケ

多比良駅の近くにある観月荘の女将が作ったコロッケ。地元のじゃがいも、八斗木白葱、牛肉を使用。

●たこやろう

国産材料にこだわったすり身と島原半島ブランドのはしりタコを使用した一品。タコ焼きのような見た目。

●ナチュラルドレッシング

地元の野菜と果物を使用。全6種で、隠し味のハーブとスパイスが野菜の美味しさを引き立てる。

■とうふ蒲鉾



- 国見町多比良港付近は、古くから蒲鉾屋と豆腐屋が多く、それらをあわせて作られた商品である。
- 島原地方に伝わり、100年近くも地元の人から愛されてきた、ふるさとの味。
- 国産大豆を使用し、地元産のわかめの茎と人参を混ぜ込んだ、柔らかさと歯応えがマッチした逸品。一度食べたら癖になる。

■和菓子と手打ちうどんの店 百花亭



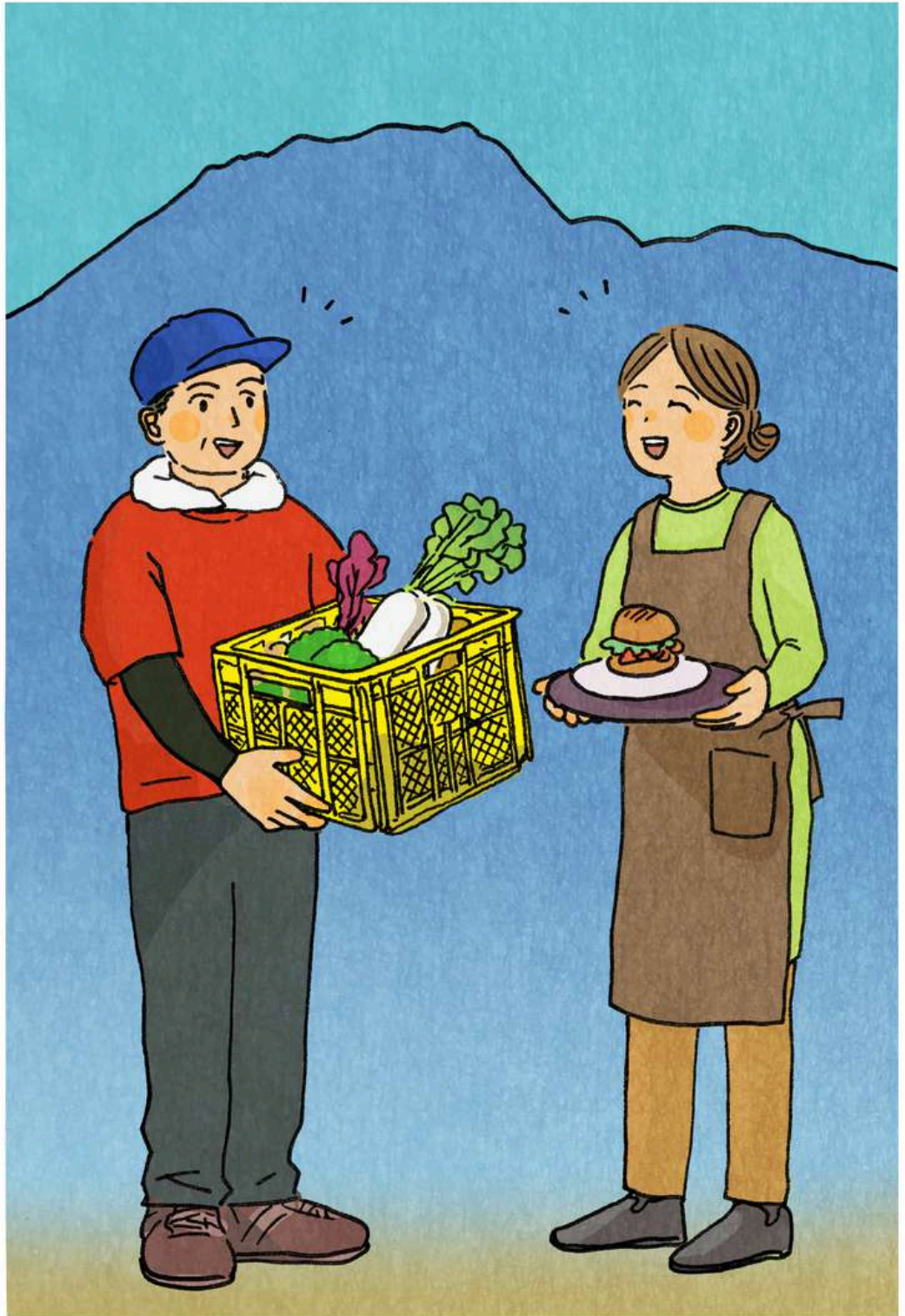
- 雲仙グリーンロード沿いに一番初めにオープンした店。雲仙百花大福はもちろん、手打ちうどんが人気で、地元の人だけではなく他県からも多くの客が訪れる。
- 葛氷とは、葛と果物を使用したアイスキャンディ。ゴロゴロしたフルーツにシャリシャリした食感が特徴。溶けても汁がこぼれないので小さなお子様でも安心。再冷凍できるのも魅力。

国見ならではの価値

豊かすぎる素材と活かす人々

当たり前前に地産地消な飲食店がたくさんある

自分たちが暮らす町で美味しい食材が獲れる国見は、ネギやイチゴといった野菜の多くは、「買うものではなく貰うもの」という感覚の人が多く。それだけ地元の食材を口にすることは、地元民にとっては当たり前。しかし、市外や県外から来た人からすると、地産地消な飲食店が驚くほど多く存在する。また、そのどれもが素材の旨味を最大限に活かし、個性的でもある。国見は、観光客も地元民も満足するほど美食であふれている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■その土地、その時の新鮮な野菜を



- 国見だけでなく雲仙市には直売所が数軒ある。そこでは毎日獲れたての新鮮な野菜は果物が並ぶ。その時期の旬な食材が購入できる。
- やさい工房 野乃花
新鮮な野菜、海産物だけでなく、総菜や弁当、加工品など品揃え豊富。
- ベジドリーム
直売所だけでなくカフェも利用できる。自家製ナチュラルドレッシングも人気。
- 無人販売所
国見エリアには各所に無人の野菜販売所が存在する。新鮮さと安さからリピーターも多い。

■飲食店



- 国見は多比良港という港があり、他県からの玄関口となっているため、飲食店が多く存在していた。
- 現在も昔から地元で愛され続けてきた飲食店が多数残っている。
- 国見エリアや島原半島の食材に魅せられて、県外から移住し、お店を構えた人もいる。雲仙市には全国各地の料理人を惹きつける食の魅力が詰まっている。

■旅館



- 観月荘
一番人気は、時期限定で食べられる「たいらガネ」のコース料理。大きくて存在感満点の観月いなりも名物の一つ。



- 旅館松栄
長崎県認定地産地消の店。地元の野菜を使用した雲仙野菜ぷりんが名物で、第43回長崎県特産品新作展において菓子スイーツ部門優秀賞を受賞。



- 旅館末廣
島原半島産の食材を使用した会席料理がいただける。館内は季節によって飾りが変わり、訪れる人を楽しませている。

■カフェ



- 国見の食材はカフェのランチメニューやスムージーなどのドリンクにも使用されている。



1、イチゴ
2、素材を活かした国見ならではの料理の数々

3、野菜ぶりん
4、ガネ汁

国見ならではの価値4

サッカーが繋いできたまちの絆

全国屈指のサッカーの強豪校である国見高校。過去に何度も全国優勝をしており、プロ選手も多く輩出している。国見の人々は彼らの活躍に元気をもらい、そして彼らを支えている。国見高校サッカー部が、まちづくりの一つの柱となっており、色々な形で国見という町に息づいている。ひいては、スポーツがしやすいまちの雰囲気づくりにつながっている。

サッカーが繋いできたまちの絆

国見高校サッカー部は全国屈指の強豪である

全国高校サッカー選手権に多く出場する、言わずと知れたサッカーの名門校・国見高校。これまで輩出したプロ選手は数知れず、全国高校サッカー選手権にこれまで23回出場し優勝6回(戦後最多タイ)準優勝3回という成績を残している。インターハイでも全国優勝を何度も果たしており、その活躍ぶりは国見の人々だけでなく雲仙市内、そして長崎県内の人々を元気にしている。「国見」の名前を全国に知らしめたその輝かしい活躍を応援するために、まちの人が一丸となって彼らを支えている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■暮らしのそばにある「サッカー」



- 国見町内に150基ほど設置された街灯はサッカーボールを模している。地元の人々の日々の暮らしを照らし、「サッカーのまち国見」を体現している。
- 国見高校の最寄り駅である多比良駅には「サッカーのまち国見」を謳ったサッカーボールのモニュメントが設置。これは全国3冠を達成した2002年に設置されたもので、選手権の前には横断幕がはられたり、部員も参加する清掃活動が行われたりしている。
- 国見高校サッカー部はトレーニングの一環で町内をランニングしており、地元の人々の声かけもよくおこなわれている。
- 国見高校サッカー部の寮「烏兎寮」の名前は、国見エリアにある烏兎神社が由来であり、試合前には必勝の願いを込めて部員や監督がお参りに訪れる。

■サッカーボールを模した商品開発

多くの土産店や菓子店がサッカーに関連する商品づくりに挑戦。地域の新たな名物となっている。

●サッカーストライカーもなか (牧瀬製菓)

サッカーボールをかたどった最中。中には粒あんがたっぷり。最中の皮は薄くてパリパリ。国見高校サッカー部の応援のためにつくられた商品のお菓子。第24回全国菓子大博覧会農林水産大臣栄誉賞を受賞。



●サッカー兄ちゃん (塚本梅陽堂)

ダックワーズの生地を生クリームとホワイトチョコを混ぜたガナッシュを包んだ軽い食感の焼き菓子。



●夢ボール (西洋和菓子処 コバヤシ)

サッカーボールの焼印が記されたスフレ。ふわふわのスポンジの中にカスタードクリームがたっぷり入った焼き菓子。



■国見高校出身選手の活躍



■高木琢也氏

元V・ファーレン長崎監督／元プロサッカー選手／Jリーグ元監督(東京ヴェルディ1969、横浜FC、ロアッソ熊本)

■三浦淳寛氏

元プロサッカー選手／Jリーグ元監督(ヴィッセル神戸)／FIFAワールドカップ日本代表

■大久保嘉人氏

元プロサッカー選手／FIFAワールドカップ日本代表／アテネ五輪代表

■徳永悠平氏

元プロサッカー選手／ロンドン五輪代表・アテネ五輪代表

■平山相太氏

元プロサッカー選手／アテネ五輪代表

国見ならではの価値

サッカーが繋いできたまちの絆

スポーツをする環境が整っている

サッカーやテニス、ソフトボールや乗馬など数多くのスポーツができる運動施設が点在。特にサッカーに関してはそれぞれ人工芝やナイター設備などを有する施設がある。国見高校サッカー部の応援を積極的に起こすなど、スポーツを応援する風土があるためか、大人から子どもまで、気軽にスポーツに触れられる環境が整っている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■百花台公園



- テニスコート、ソフトボール場、サッカーコートなど様々なスポーツをできる、それぞれの専門の環境が整っている。
- 特にサッカーコートは公式試合でも使用される人工芝で、大人も子供も利用できる。

百花台公園の詳細はこちらからご確認いただけます



■遊学の里くにみ(国見総合運動公園)



- 公式サッカー競技にも対応する天然芝の多目的芝生広場や、サッカーもできるクレー(砕いた石や粘土で、土で層を作り上げ、その上に細かく砕いた砂を撒き散らかして作ったコート)のグラウンド、ナイター照明付きグラウンドがある
- サッカー以外にも、ナイター照明付きの人工芝テニスコート6面という充実したスポーツ施設が整っている。

■ペガサスライディングパーク



- 小さなお子さんからご年輩の方まで幅広く楽しめる。
- 5頭いる馬の中から乗る方に合わせて馬を選んでくれる。乗り方など優しくレクチャーして下さるので、初めての方でも安心。

ペガサスライディングパークの詳細はこちらからご確認いただけます



国見ならではの価値

サッカーが繋いできたまちの絆

国見エリアを巡るサイクリングが地域を盛り上げている

島原半島では半島全体でサイクリストの誘致や環境の整備に取り組んでいる。中でも国見エリアは雲仙の山々と有明海に囲まれた平坦な土地で、市内の中でも特にサイクリストに適した環境。風が薫る国見の道を走れば、車移動ではわからない町の魅力を発見できる。地元の人と同じ視点でゆったりとした時間を過ごすことが出来るサイクリングは国見らしさを感じる手法として注目を集め始めている。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■ サイクルラック設置 電動アシスト自転車のレンタル



- 2021年10月、商店街に「サイクリストにやさしいまち多比良」として、商店の軒先など7カ所に自転車を駐輪するサイクルラックを設置。また電動アシスト自転車5台を常備し貸出している。
- サイクリストがより楽しめるよう、国見の周遊マップやグルメ情報を載せたパンフレットも作成し配布している。

■ サイクリングに関連するイベント



- **サイクリングピクニック多比良**
長崎大学生が多比良文殊会と協力し企画したサイクリング×ピクニックのイベント。お弁当や自転車のかご、手ぬぐいなど随所に多比良の魅力が詰まったイベント。
- **持続可能な観光サイクリング実証実験ツアー**
地元ガイドと共に各所をサイクリングで回り、コンポスト肥料を使った農園での収穫体験やそれらの特産を使った食事を味わうなどサイクリングを通じて様々なサステナビリティ体験が実現できるよう模索するツアーを実施。

■ 自転車で巡る 野菜収穫×絶品やさい寿司ランチ



- サイクリングと農業産地である国見の特色を活かし、農家の方が大切に育てた畑の一面を借りて収穫体験が可能。案内人は観月荘の園田女将。
- 食の宝庫である国見町で採れた新鮮で美味しい野菜を堪能できるアクティビティ。

アクティビティの詳細は
こちらからご確認いただけます



■ 雲仙市内の他地域で取り組む サイクリングの活動



- 雲仙市内の他地域でもE-bikeを使ったサイクリングのアクティビティを行うことが可能。
- E-bikeは時間単位でレンタルが可能。雲仙温泉・小浜温泉の各案内所でレンタルをおこなっている。モデルコースの紹介も行っており、雲仙の風を肌で感じながら観光することができる。

サッカーが繋いできたまちの絆

子どもから大人までみんなが集える百花台公園

長崎県内外から家族連れが集まる百花台公園。遠く正面に広大な有明海、背後には雄大な雲仙普賢岳が広がる、自然豊かな県内最大級の県立公園。子どもが遊べる遊具から家族みんなで楽しめる広場、専門的なスポーツ施設など老若男女が楽しめる百花台公園。皆に愛されている理由として、多様な楽しみ方が出来る公園としての機能に加え、近隣の商店や飲食店、直売所など公園を中心とした休日を楽しめるルートが形成されているからである。



ストーリーを伝える、おすすめの場所や体験

■多様なスポーツに対応した施設



テニスコート、ソフトボール場、サッカーコートなど様々なスポーツをできる、それぞれの専門の環境が整っている。特にサッカーコートは公式試合でも使用される人工芝で、大人も子供も利用できる。

■雲仙普賢岳を間近に望む 自然豊かな公園



森林公園には、県内市町村の木がすべて植えられている。「百花台」という名前の通り、園内には季節の植物が咲き乱れる。春はヤエザクラやフジ、夏はアジサイ、秋はイチョウ、冬は椿など季節によって多種多様な景色を楽しむことができる。

■眺望の良さ



- 遠く正面に広大な有明海、背後には雄大な平成新山と、展望などから眺める景観はまさに圧巻。海の方こうの熊本まで見渡せる絶景を堪能することができる。
- 「子供の砦」と呼ばれる展望台自体も名所となっており、快晴の日には普賢岳をバックにした雄大な姿を見ることができる。

■老若男女が集う憩いの場





- 敷地内にはピクニックにも最適な芝生広場をはじめ、ローラースライダーやレイルウェイなど子供たちに人気の遊具が多数設置。
- テニス、サッカーなどが楽しめるスポーツレクリエーション施設も充実しており、芝生広場でのんびり過ごしたり、スポーツを楽しんだり、自然を満喫しながら思い思いの時間を過ごすことができる。

百花台公園の詳細はこちらからご確認いただけます



国見エリアにおける既存の代用的な インタープリテーション・メディア・プログラム

	メディア・プログラム	概要 (開催時期・内容・費用など)	問い合わせ先
1 ガイド プログラム	1-1 神代ガイドツアー	<p>神代小路を知り尽くした専門ガイドによるツアー</p> <p>〈体験時間〉 30分～1時間半</p> <p>〈休業日〉 月・年末年始(12/27～1/5) ※鍋島邸の休館日に準ずる</p> <p>〈コース 一人当たり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆30分コース：1,000円 鍋島邸 ◆1時間コース：1,500円 鍋島邸と永松邸 ◆1時間半コース：2,000円 鍋島邸・神代小路 	<p>雲仙観光局 ☎0957-73-3434</p> <p>詳細はこちら</p> 
2 着地型 コンテンツ イベント	<p>2-1 思うままに描こう！ 絵付け体験</p> <p>2-2 拝！願い地藏づくり体験</p> <p>2-3 心落ち着く写経体験</p> <p>2-4 木の香りに包まれる 表札づくり体験</p> <p>2-5 神代の歴史を語ろう 神代史Q&A</p>	<p>神代の伝統的な建物で絵付けや、 写経を体験しよう</p> <p>〈営業時間〉 10:00～16:00</p> <p>〈定休日〉 要問合せ</p> <p>〈体験内容 一人当たり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆絵付け体験 1,000円 ◆願い地藏づくり体験 1,000円 ◆表札づくり体験 1,000円 ◆写経体験 500円 ◆神代史Q&A 500円 <p>※飲み物代・材料費(資料費)込</p>	<p>雲仙観光局 ☎0957-73-3434</p> <p>※受付は前々日までの夕方 17:00まで</p> <p>詳細はこちら</p> 

	メディア・プログラム	概要 (開催時期・内容・費用など)	問い合わせ先
2 着地型 コンテンツ ・イベント	自転車で巡る野菜収穫× 絶品やさい寿司ランチ	<ul style="list-style-type: none"> ・通年開催 ・国見地区の特色を活かした、サイクリングと収穫体験・ランチのアクティビティ。 	観月荘 ☎0957-78-2027
	DENKEN WEEK KOJIRO	<ul style="list-style-type: none"> ・1月末～2月初旬(不定期開催) ・料金：大人¥5,000、子ども¥3,500 ・雲仙市国見町神代 	株式会社Patina ☎090-9762-3525
	緋寒桜の郷まつり	<ul style="list-style-type: none"> ・2月半ば～3月初旬 ・雲仙市国見町神代 ・神代小路を会場に、物産販売のほか陶芸教室や写経体験、俳句会や絵画展も開催するまちあるきイベント 	緋寒桜の郷まつり実行委員会 ☎090-2514-7007
	くにみの日	<ul style="list-style-type: none"> ・9月23日(不定期開催) ・雲仙市国見町土黒甲(多比良港埋立地) 	くにみの日実行委員会 ☎080-1532-0923
	こうじろフェス	神代商店街で開催される町歩きを楽しむイベント。通り沿いには様々な出店や催しがある。	神代文殊会
	くにみ夏の夜市	<ul style="list-style-type: none"> ・8月末ごろ ・多比良商店街において開催されるイベント 	多比良商店街
	鳥刺し	国見に伝わる、郷土芸能。延享4年(1747年)、神代鍋島家が京都へ行った際、家臣が習い覚えたというのが起源。赤ふんどしに長尺の竿を持ち、唄に合わせて「鳥刺し」の姿をユーモラスに踊る。国見のイチゴ農家にしか引き継ぐことができない伝統ある郷土芸能。	雲仙市観光物産課 ☎0957-38-3111
	やまぼうし祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・6月初旬 ・やまぼうしが咲く6月初旬ごろ開催のイベント 	多比良文殊会
	多比良クリスマス会	<ul style="list-style-type: none"> ・12月実施 ・コロケやいなりずしなどを販売 	多比良文殊会

	メディア・プログラム	概要 (開催時期・内容・費用など)	問い合わせ先(担当者)
3 展示施設・案内施設	鍋島邸	<p>〈開館時間〉 午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)</p> <p>〈休館日〉 ・毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館・その後の最も近い休日でない日が休館日) ・12月27日～翌年1月5日</p> <p>〈入場料〉 大人：300円(団体：200円) 小・中・高校生：200円(団体：150円) 障害者手帳をお持ちの人：130円(団体：130円) 小学生未満：無料 ※団体=15人以上</p>	<p>雲仙市教育委員会 生涯学習課文化財班 ☎0957-47-7864</p> <p>雲仙市国見神代小路歴史 文化公園 鍋島邸 ☎0957-61-7778</p>
	神代小路重要伝統的建造物群保存地区	佐賀鍋島藩神代領領主・鍋島氏の、歴史ある佇まいを見せる鍋島陣屋跡。この鍋島陣屋跡を中心とした神代小路地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、まるで時間が止まったかのような美しいまちなみが残されている。	<p>雲仙市教育委員会 生涯学習課文化財班 ☎0957-47-7864</p>
	雲仙市歴史資料館国見展示館・旧神代中学校校舎	<p>旧神代村村立中学校の木造校舎を利用した建物。約3万年前の石器から昭和のガラス製品まで、様々な遺跡出土品を展示しています。復元された木造校舎や農具・民具なども見学可能。</p> <p>〈開館時間〉 午前9時～午後5時</p> <p>〈休館日〉 土・日・祝祭日</p> <p>〈入場料〉 無料 ※教室の使用については、使用料が必要</p>	<p>雲仙市歴史資料館 国見展示館 ☎0957-78-2334</p>

	メディア・プログラム	概要	担当組織(担当者)
4 WEB メディア	4-1 雲仙観光局公式ウェブ サイト	コーポレートサイト https://unzen-dmo.com/	 雲仙観光局 (黒原・白瀨・金澤)
	4-2 FindUNZEN	https://www.unzen.org/	 雲仙観光局 (黒原・白瀨・金澤)
	4-3 雲仙ポータル サイト	インナー向けサイト https://www.unzen-portal.jp/	 雲仙観光局 (黒原・白瀨・金澤)
	4-4 国見よりまち	国見の観光情報サイト https://www.kunimiyorimachi.net/	 多比良文殊会

国見エリアをもっと好きになるSTORY

国見エリアインタープリテーション全体計画

発行：一般社団法人雲仙観光局
〒852-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙320
TEL 0957-73-3639

協力：国見エリアワーキング参加者の皆様
雲仙市 観光商工部 観光物産課
雲仙市 教育委員会 生涯学習課
日本インタープリテーション協会理事 川嶋直
長崎県立国見高等学校
島原鉄道株式会社

デザイン：雲仙観光局

イラスト：雲仙観光局

雲仙ポータル



この冊子を作る過程は
こちらの記事よりご覧いただけます→



F i n d
UNZEN